

兵庫県中山間地域における地域の魅力発見活動へのアドバイス

兵庫県推薦都市農村交流アドバイザー（分野：観光交流）

玉田 恵美

（NPO 法人姫路コンベンションサポート 理事長）

1 取組概要

平成21年から、姫路市において、2地域のアンテナショップを十数年に渡り運営をしていました。当初は、姫路市中心街の「みゆき通り商店街」で姫路近郊の農家で作った野菜や加工品を扱うアンテナショップを自社で運営しました。

その経験から、兵庫県宍粟市の委託を受け、宍粟市のアンテナショップを姫路市で5年間運営しました。また、宍粟市内においても行政に対し、地域の魅力を活かしたまちづくりによる、地域ブランドの確立などの支援をしました。

2 取組前の地域の状況

宍粟市は、面積の7割近くが森林で、古くから木材加工を中心として発展してきました。昨今中国をはじめとする外国産の木材に押され、林業の衰退が目立っていました。一方で、宍粟市は自然に恵まれ、水がきれいで野菜も非常においしいものが作られています。それが十分にPRできておらず、近隣の市町の人も宍粟に行ったことがないという人が多くみられました。

3 具体的なアドバイス内容

(1) 宍粟市アンテナショップの運営

アンテナショップの目的は、「宍粟市の関係人口の増加」でした。観光客のみならず移住者も増やしたいとのことから、まずは「宍粟」の産物を通じて、姫路市民に宍粟を知っていただくことから始めました。

これまでの経験を生かし、宍粟市に対しアンテナショップ運営についての店舗設計、レジシステムの導入、農家との契約から出荷、バーコードの貼り付けなど、運営に関する提言を行いました。特に、出品者にはパッケージやディスプレイなど、農家だけではできない商品開発や新商品のアドバイスも行い、豊かな自然のまちであることをPRしました。

また、出品している農家へ「売れ筋商品」情報を毎月発信するなど、野菜や果物、花きなどを新たに栽培していただける宍粟市内の契約農家を増やしていきました。露地ものが中心となるため、他と競合しないように加工品の出荷にも力を入れてもらいました。

(2) 宍粟市の魅力を活かしたまちづくり

まちづくりのNPO法人として20年間の実績を生かし、宍粟市の魅力を発見するためのワークショップを実施しました。宍粟市には「日本酒発祥の地」と言われる庭田神社があったり、地域では、自宅で味噌やもろみなどの発酵食品を作っていたりと日常生活に発酵文化が地域に根付いていることも分かりました。そこで、「日本酒発祥の地 宍粟」を前面にだし、「発酵のまち」として全国にPRしてはどうかと提案し、発酵学の第一人者である東京農業大学の小泉武夫先生を招聘し、講演会などを実施しました。

講演会当日は、女性たちが作る「おにぎりのお供選手権」も実施、もろみや梅干しなど手づくりの発酵食品も紹介しました。

4 地域の変化

(1) 宍粟市アンテナショップの運営による変化

アンテナショップの運営においては、宍粟市内において当初 20 軒から始まった契約農家は約 200 軒にまで増加し、お弁当や巻き寿司、漬物など地域の女性グループの加工品は非常に人気を博しました。アンテナショップだけでは品数が揃わないものもあるので、お客様は他の店舗にも立ち寄ります。結果、アンテナショップ周辺の店舗売上にも貢献することとなりました。

(2) 宍粟市の魅力を活かしたまちづくりによる変化

小泉先生からの後押しで、全国発酵のまちづくりネットワーク協議会（事務局秋田県横手市）にも加入し、日本酒発祥の地宍粟として、地域ブランドを確立し、現在は、地域住民とともに発酵研究会なども開催するとともに、酒蔵のある古い町並みを活かし、酒蔵の一部を改造した発酵レストランもオープンしました。また、古民家を生かした旅館などもでき、「酒蔵通り」と名付けられた商店街には、観光客の姿が見られるようになっていきます。

5 取組の効果と地域が変化するために必要なこと

地域住民を変えるには自らが、まちづくりに取り組むことが必要です。そのためには、その土地ならではの良さを地域住民とともに発見することが必要でしょう。私たちは、歴史を紐解きながらそのお手伝いをし、地域住民が自らその取り組みに参加できるようなお手伝いをさせていただきます。

6 アドバイザー自身の PR

アンテナショップ運営の受託は昨年度で終了しましたが、その後は大学生とともに「アンテナショップが地域にもたらす役割」を研究したり、行政とともにアンテナショップの考察をしたりと研究を重ねています。

アンテナショップはコロナ禍のもとでその存在意義が問われています。私は、アンテナショップは常設店ではなく、臨時でイベント的に行うのがよいのではないかと考えています。その際にはお客様の反応に焦点を当てるのが重要であり、どの様に PR するのがよいかを探りながら、地域の人たちとともに歩いていくのが大切でしょう。

まちづくりは、結果がでるまでに、時間はかかりますが、じっくりと歩むそのお手伝いをさせていただきます。



アンテナショップ



おにぎりのお供選手権